

令和7年度 東京都立江東商業高等学校 全日制課程 学校経営計画

スクールミッション

民主的で平和な社会の実現に貢献する人材、「生きる力」を備えた人材、基礎学力を身に付け英語・簿記会計・情報処理のビジネス三言語を活用できる人材、自己実現に向けて努力し国際社会に羽ばたく人材を育成することを目指し、商業教育を核とした教育活動を通して、社会人基礎力を備えた生徒を育成する。

【グラデュエーション・ポリシー】 将来の自己実現に向けた高い志と目標をもって、知識や技術の習得を目指し、学ぶ楽しさと学ぶ意欲に溢れ、望ましい職業観・勤労観・社会観をもった生徒を育てる。  
 【カリキュラム・ポリシー】 ①1年次に「ビジネス基礎」「簿記」「情報処理」の3科目を設置し、ビジネスの基礎・基本を身に付ける。②2・3年次に多様な商業選択科目を設置し、将来の進路や自らの興味・関心に応じて選択できるようにする。③様々な検定や資格取得に取り組む科目を設置し、希望進路の実現と社会人としての適性を高める。④「英語コミュニケーションⅠ」「簿記」「ビジネスアイデア」「財務会計Ⅰ」等で少人数授業を実施する。  
 【アドミッション・ポリシー】 ①商業高校としての本校の教育内容を理解し、目的意識をもって、入学を強く希望する生徒②商業科目やコンピュータ利用に興味・関心があり、これらに関する検定・資格の取得に意欲的な生徒③各種の検定・資格の取得に熱心に取り組んできた生徒④生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、部活動等に積極的に取り組み、入学後も継続していく意欲のある生徒⑤自分の可能性を最大限に引き出し、理想や夢をかなえようと努力する生徒

観点	中期的目標と方策	今年度の教育活動の目標と方策	重点目標及び方策
学習指導	<p>★多様な学び方を取り入れた学習指導の模索</p> <p>(1) 生徒みずからが学びたい授業を目指し、分かることの喜びを体得させるとともに、反転学習を試行し、生徒が自主的に学習する態度を育成する。</p> <p>(2) 地域や企業と連携した学習やインターンシップを通じて、ビジネスに関する実践的・体験的なスキル習得を推進する。</p> <p>(3) ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりを推進し、授業環境を整備する。</p> <p>(4) 生徒による授業評価を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に積極的に取り組む。</p> <p>(5) ビジネススキル講座の受講者数を増加させ、高度な資格取得を目指す生徒を育成する。</p> <p>(6) 学校における教育活動のあらゆる場面で、生徒の言語活動の充実を図る。</p>	<p>★基礎・基本の確実な定着と新しい学び方の試行</p> <p>(1) 基礎的・基本的な知識や技術を確実に定着させ、ICT機器や一人1台端末の活用、主体的・対話的で深い学びの手法を取り入れて学びの質を高めさせる。</p> <p>(2) 生徒が自主的に学習する意識や態度を育み、家庭学習の習慣化・定着化を図る。</p> <p>(3) 年間指導計画、週ごとの指導計画に基づいた適切な学習目標の設定、意図的・計画的な学習指導、観点別学習状況評価の検証と改善を行い、学習指導・評価の充実化を図る。</p> <p>(4) 生徒の特性や障害の状態に応じて、合理的配慮や個別指導計画を基にした支援を組織的に実践する。</p> <p>(5) 教科「人間と社会」では、探究的な学びを通じて、課題発見能力や課題解決能力を育成し、生徒の社会貢献への意識と資質を高める。</p> <p>(6) 図書室の活用や長期休業中の読書指導を推進する。</p> <p>(7) 英語力や国内外の課題を解決する創造力・論理的思考力の育成を推進する。</p>	<p>★新しい時代に必要な資質能力の育成と学習評価の充実</p> <p>(1) 基礎学力の確実な定着のため、自己調整学習を取り入れた授業、長期休業日や放課後を活用した組織的・計画的な補習・補講を実施し学力向上を図る。</p> <p>(2) 課題解決型学習や探究的な学びを取り入れながら、生徒の課題意識や情報収集力、情報活用能力、プレゼンテーション能力を高めさせる。</p> <p>(3) インプット中心の学習から、アウトプットを主体とした学習への転換を図り、生徒の思考力、判断力、表現力を高めさせる。</p> <p>(4) 生徒による授業評価アンケートの結果を生かして授業改善に取り組む。</p> <p>(5) 社会の人材活用や、地域、企業との連携により、実務に即したビジネス教育の充実を図る。</p> <p>(6) 情報活用能力を育成するために、授業や進路指導における一人1台端末を効果的に活用する。</p> <p>(7) 図書館の機能を充実させ、読書活動を推進し、言語活動の充実を図る。</p> <p>(8) 異文化理解や生徒の将来のキャリアを意識した海外派遣研修など、様々な交流機会を通じて、グローバルマインドセットを図る。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①基礎科目に関する検定合格率(簿記、情処、電卓、商経等) 80%以上</p> <p>②全商簿記検定1級(財務会計・原価計算2科目受検者の)合格率 50%以上</p> <p>③生徒による授業評価アンケート「授業満足度」 90%以上</p>
生活指導・健康づくり	<p>安心・安全な学校生活と指導の充実</p> <p>(1) 都立高校生活指導指針に基づき、生徒・保護者との共通理解を図りながら生徒の規範意識を醸成する。</p> <p>(2) あらゆる差別・偏見や、いじめを根絶し、安全・安心な学校生活を送れるよう指導体制の確立と充実を図る。</p> <p>(3) 心身の健康の保持・増進のために必要な取組を実施し、生徒が健康・安全を自主的に管理する態度を育む</p> <p>(4) 自転車通学者のヘルメット着用率を高め、安全指導や交通マナー指導を充実させる。</p>	<p>全教員による生活指導体制の充実と関係機関との連携</p> <p>(1) 全教職員が協力し組織的に服装指導、髪型・身だしなみ指導、遅刻指導に取り組む、生徒の社会的資質や行動力を高めさせる。</p> <p>(2) 学校のルールを守り、節度ある学校生活を送らせるとともに、時間や約束事を守ることを意識させ、けじめのある学校生活を送らせるよう指導する。</p> <p>(3) セーフティ教室、薬物乱用防止教室、防災訓練等を活用し、生徒の安全教育や学校の安全管理体制を徹底する。</p> <p>(4) 地域や関係機関と連携し、自転車乗車時のヘルメット着用についての指導を推進する。</p>	<p>★社会人としてのマナーの充実とTPOに応じた適切な行動力の育成</p> <p>(1) 服装指導、髪型・身だしなみ指導、遅刻指導に全校体制で取り組み、生徒の社会的資質やTPOに応じた行動力を高めさせる。</p> <p>(2) 登校時間や授業開始時間を守らせ、遅刻のないけじめのある学校生活を送らせるよう指導する。</p> <p>(3) セーフティ教室を実施し、生徒の健全育成に関する取組の充実を図るとともに、関係機関との連携により非行防止・犯罪被害の防止に努める。</p> <p>(4) 登下校時における危険箇所の確認や自転車の運転マナーの向上を図り、自転車事故0(ゼロ)を目指す。交通安全、特に、自転車を中心とした二輪車利用に関する交通安全教育を充実させ、自転車ヘルメットの重要性を指導し、交通安全教室や自転車ヘルメット着用強化週間などを通じて実施する。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①自転車による生徒事故件数 0件</p> <p>②特別支援教育に関する委員会の開催回数 10回以上</p> <p>③部活動加入率 85%以上</p>
進路指導	<p>★高いレベルでの進路実現</p> <p>(1) 実社会のビジネスに触れながらキャリア教育を推進し、望ましい職業観や勤労観を育成する。</p> <p>(2) 生徒の希望進路実現に向けて、全教員による組織的な指導により進路活動を支援する。</p> <p>(3) 総合型選抜による入学者選抜にチャレンジを促し、より高いレベルへの大学入試に取り組むなどして、受験指導の充実化と進路実現を図る。</p>	<p>★キャリア教育の充実と進路決定率100%の堅持</p> <p>(1) 3年間を見通したキャリア教育推進計画を策定し、全教職員が一体となって、生徒の進路意識の啓発と希望進路実現に向けた指導の充実を図り、企業が求める人材を育成する。</p> <p>(2) 一年次からのキャリア教育を充実させ、外部団体との連携を通して、卒業時まで意図的・計画的に社会に貢献できる人材を育成する。</p> <p>(3) キャリアパスポートを活用し、資格取得の状況や学校行事、部活動での生徒の取組を自己評価により記録させる。</p> <p>(4) 大学、企業、地域や関係諸団体との連携を積極的に進め、生徒の進路に対する意識を高めさせる。</p>	<p>★進路実現に向けた指導の充実</p> <p>(1) 就職を目指す生徒に対し、進路指導部を中心に全教員で面接指導に取り組む。</p> <p>(2) 基礎力診断テストなどを活用し、自己理解と基礎学力の定着に向けた指導により一般常識の指導を強化し、採用試験対策や入試対策を行う。</p> <p>(3) ビジネスマナー講座を活用して、社会人として必要な振る舞いやコミュニケーション能力を身に付けさせる。</p> <p>(4) 経済人などを招聘や体験活動を活用し、実務的・体験的な学びを通して望ましい勤労観を養い、働くことの意義を理解させる。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①進路決定率 100%</p> <p>②就職試験1社目での内定率 80%以上</p> <p>③大学現役合格者数 20名以上</p>
特別活動等	<p>★地域とともにある学校の推進</p> <p>(1) 部活動の活性化や学校行事の充実化を図り、共通の目標に向かって努力する過程を通して、生徒の自主性や創造性を育み、帰属意識を高めさせる。</p> <p>(2) 人権尊重の視点から、多様性を認め、思いやりのある生徒を育成する。</p> <p>(3) 地域貢献や地域社会との連携を積極的に進め、社会に開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>★学校行事・部活動の充実といじめの防止・体罰の根絶。</p> <p>(1) 体育祭、文化祭等の学校行事の充実化と活性化を図るとともに、生徒の主体的な活動を支援し、自主性、自律性、規則性を高めさせる。</p> <p>(2) いじめアンケートや組織的な情報共有を通していじめの未然防止・早期発見・早期対応と体罰の防止を図る。</p> <p>(3) 部活動は、週当たり2日以上の日を設ける。</p>	<p>(1) 学校行事や授業公開を通じ、保護者、中学生、地域などに本校の教育活動の成果を広く発信する。</p> <p>(2) いじめアンケートや体罰調査を通じて、兆候や実態を早期にとらえ、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応を行う。</p> <p>(3) 商業高校向け競技大会、コンテスト、専門高校生海外研修への参加を促し、他の商業高校との交流や発表活動を通してビジネススキル向上を図る。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①商高連・都商研主催競技大会で3人以上の部活動 3団体以上</p> <p>②部活動加入率 85%以上</p> <p>③生徒による学校評価アンケート(学校満足度) 80%以上</p>
募集・広報活動	<p>★募集対策事業の安定化・充実化</p> <p>(1) 学校内外の募集対策事業や、中学校からの要望に応じた出前授業に積極的に取り組み地域中学校との連携を図る</p> <p>(2) 生徒による学校紹介動画制作を通して、本校の魅力を効果的に発信する。</p> <p>(3) 創立120周年記念事業を通じて、生徒の発表活動を充実させる。</p>	<p>★入学者選抜での適正な応募倍率の確保</p> <p>(1) 募集対策活動・広報活動を充実させ、生徒のさまざまな活動を情報発信して入学者選抜で適正な倍率を確保する。</p> <p>(2) 本校で実施する学校説明会・体験入学の実施内容を精選し、本校の特色やビジネス教育の有利性を発信する。</p> <p>(3) 地域主催の行事に積極的に参加・協力し、同窓会・PTAと連携して創立120周年記念事業を実施する</p>	<p>★本校の教育活動を効果的に発信による入学希望者の増加</p> <p>(1) 中学校や塾訪問を行い、本校の特色やビジネス教育の優位性を発信する。</p> <p>(2) 学校ホームページのタイムリーな更新や「#だから都立高」での本校の特色を有効に発信し、入学希望者確保に努める。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①推薦選抜応募倍率 1.20倍以上</p> <p>②学力検査(第一次)応募倍率 1.10倍以上</p> <p>③学校ホームページ更新回数(年間) 250回以上</p>
学校経営・組織体制	<p>★課題対応力の高い学校づくり</p> <p>(1) 組織的・計画的なOJTを実施して全教員で課題を共有し、課題解決に向けて校内組織の活性化を図る。</p> <p>(2) 学校運営連絡協議会、PTA、同窓会による評価を活用し、学校経営や教育活動の検証・改善に努める</p> <p>(3) 「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進し、長時間勤務の是正と教職員の意識改革を図る。</p>	<p>★組織体制の充実</p> <p>(1) 生徒等の個人情報等を適切に管理・運用するため、「保有個人情報安全管理基準」等の規定を遵守し、教職員の意識を高めながら服務事故ゼロを目指す。</p> <p>(2) 企画調整会議を学校運営の中核として機能させるとともに、予算調整会議を充実させて予算執行の進行管理や施設・設備の維持管理を的確に行う。</p> <p>(3) 校務の効率化を図り、「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員のライフ・ワーク・バランスの実現に向けた取組を推進する。</p> <p>(4) 施設改修に当たっては、本校の教育活動が効果的に最大限に機能できるよう、綿密に職員間の情報共有を図る</p>	<p>★服務事故及び生徒の重大な事故ゼロを継続と適正な学校運営の推進</p> <p>(1) 情報セキュリティに対する職員の意識を向上させ、服務事故防止研修を年3回以上実施し、服務事故のない職場づくりを推進する。</p> <p>(2) 校内研修やOJTの充実を図り、学校が抱える課題及び解決に向けた方策を共有化する。</p> <p>(3) 業務分担の適正化や会議時間の短縮等によって業務効率化を図り、特にホームルーム担任の負担軽減を目指し、業務量の格差の解消を図る。</p> <p>(4) 校務分掌決定に当たっては、ジョブローテーションを行い、新しい視点でのアイデア創出や組織の活性化を涵養して学校課題の解決を目指す。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①一般需用費のセンター契約集約率 60%以上</p>